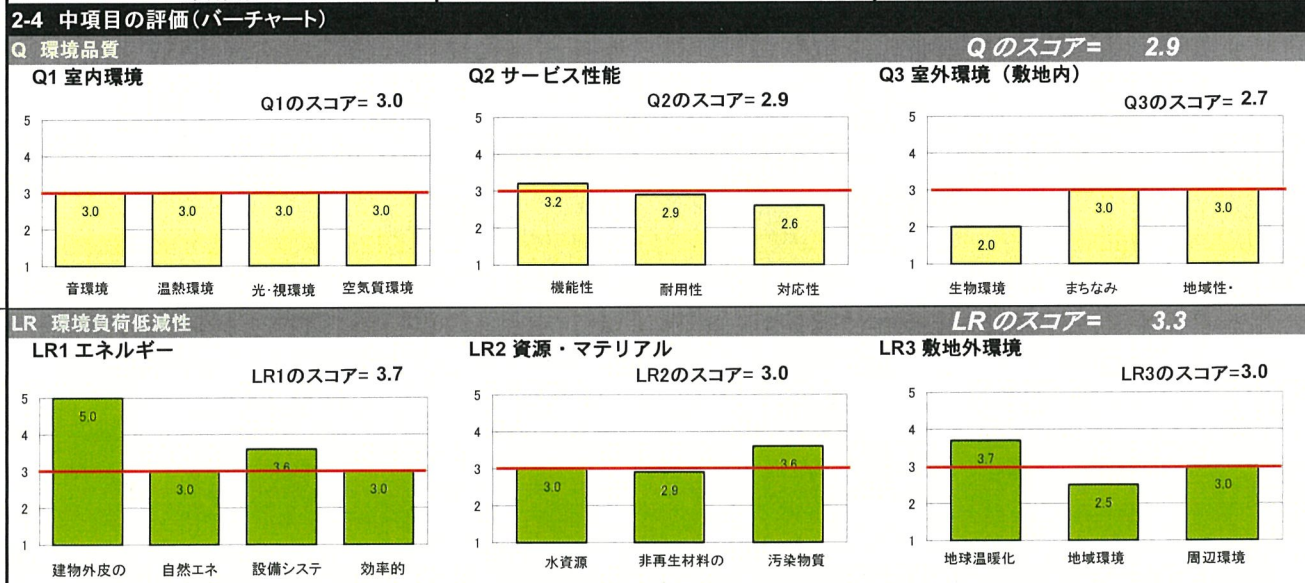
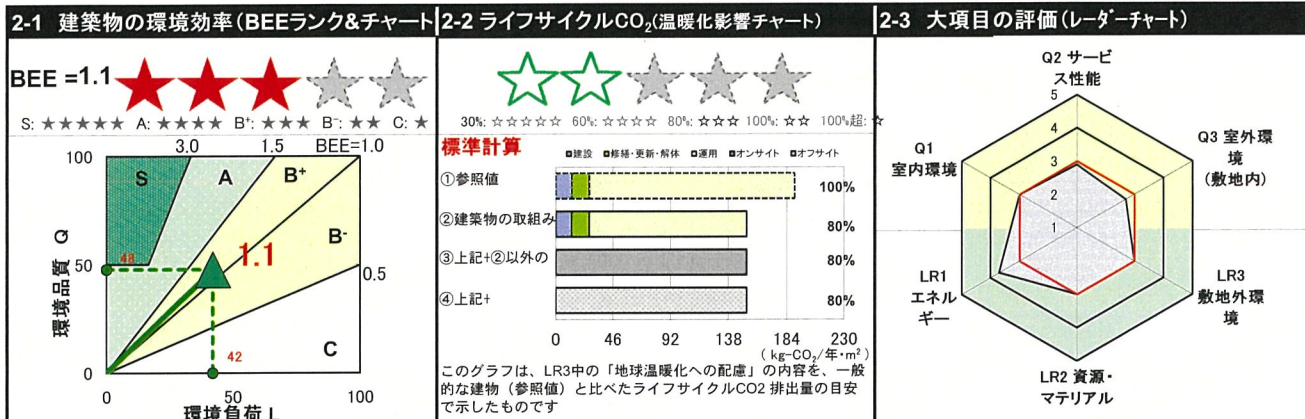


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホテルルートイン倉吉駅前新	階数	地上8F
建設地	鳥取県倉吉市上井320番地11	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	270 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 0.0	評価の実施日	2023年8月10日
敷地面積	4,773 m ²	作成者	笹野
建築面積	961 m ²	確認日	2023年8月17日
延床面積	5,486 m ²	確認者	田中



3 設計上の配慮事項		
総合 客室は上下及び隣室からの騒音の対策については特に注意した。また、浴室、レストランは意匠的にも力を入れ快適に過ごせるよう考慮した。		
その他 敷地内の既存アスファルトを極力残置するためオーバーレイ工法とし廃棄物の発生を抑えた。		
Q1 室内環境 客室界壁及び床について特に遮音性能を意識している	Q2 サービス性能 一般的な仕様としているが天井高はややゆとりを持たせている	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に調和させるよう境界よりセットバックさせ圧迫感を緩和。また、植栽帯は基準となる面積より多く配置し周辺との調和を図っている。
LR1 エネルギー 外皮については熱橋を作らないような計画とした。一部浴室廻りは外断熱とし環境性能の向上を図った。	LR2 資源・マテリアル 基本的には木材は使っていないが、製品の芯材等に極力採用した	LR3 敷地外環境 水質汚濁法の対象となるため、法令に沿った排水を考慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される